

ながぬま



創立 30 周年記念式典開催

創立30周年記念式典並びに第30回通常総代会

4月5日、創立30周年記念式典並びに第30回通常総代会が長沼町民会館で行われました。

創立30周年記念式典

記念式典は午後1時より関係者約180名が出席し開催されました。

健名総務経済対策委員長の開会の辞で始まり、物故者に対する黙とう、服部専務理事によるJA綱領朗唱後、柴田代表理事組合長が「創立30周年の節目を契機として、今後もJAは組合員の組織であり、時代に即した組合員・地域利用者のニーズに対応し、農業やJAを取巻く環境を的確に捉え、地域農業の振興や地域社会に貢献する組織であるという理念を忘れることなく役員一同全力で取組んでまいりたい。これまでの取組みや事業成績を成し遂げることができましたことは組合員の皆様の深いご理解とご努力の賜物であり、ご支援、ご指導をくださいました歴代の役員員そして関係機関、系統連合会の方々に深く感謝申し上げます。」と述べました。

その後、農協運営などにご尽力いただいた方々に感謝状と記念品が手渡されました。



出席された総代の方々



齋藤町長より祝辞



柴田組合長による式辞



J A綱領を朗唱する服部専務

- 【特別功労者】
 (常勤役員)
 元代表理事組合長 内田 和幸
 元代表理事組合長 永井 孝雄
 前代表理事組合長 成田 正夫
 元専務理事 高瀬 和憲
 元専務理事 小林 信昭
 前常務理事 飛谷 博秀
- (故)
 元代表理事組合長 内田 和幸
 元代表理事組合長 永井 孝雄
 元専務理事 高瀬 和憲
 元専務理事 小林 信昭
 前常務理事 飛谷 博秀
- 【永年在職功労者】
 (役員) 廣田 睦男
- (総代)
 1区 (有)仲野農園 仲野 満、増田 瑞貴
 2区 田村 昭夫
 3区 矢田 和征
 4区 道原 勇一、中原 和好
 5区 井形 博志、広嶋 浩一
 6区 五十嵐 春男、小林 邦弘
 7区 黒田 泰明
 8区 仲山 政彦、山田 寿
 9区 谷口 清美、松井 昭洋、木工 順人
 10区 奥村 芳樹、吉川 与蔵
 11区 石尾 大介、谷本 信一
 12区 清水 敏文
 13区 山崎 慎太郎
 14区 鶴野 秀樹、新谷 正寿、山岸 憲史
 15区 林 哲次
 16区 保井 和博
 17区 高橋 浩、中本 忠則
 18区 尾崎 雄二
 19区 小野 功
 20区 高橋 博樹、滝口 正己、森出 正志
 21区 押切 博之
 22区 酒井 久夫、間島 秀格、間嶋 良春
 23区 石尾 正幸、福田 正博、三上 輝之



特別功労者を受賞される元組合長 内田和幸氏

来賓

- 長沼町長 齋藤 良彦 様
 長沼町議会議長 平井 儀一 様
 空知管内農協組合長 引頭 一宏 様
 北海道農業協同組合中央会岩見沢支所長 西島 高之 様
 JA北海道女性協議会会長 中川 苗保子 様
 ホクレン農業協同組合連合会岩見沢支所 次長 遠藤 博則 様
 北海道信用農業協同組合連合会岩見沢支所 次長 木山 剛 様
 全国共済農業協同組合連合会北海道本部 岩見沢支所 次長 横山 智隆 様
 公益社団法人北海道農業公社道央支所 次長 源常 好行 様
 空知農業改良普及センター空知南西部支所 次長 辻 恭子 様
 ながぬま土地改良区理事長 菊地 博 様
 北海道農業共済組合理事 窪田 秀治 様
 長沼町農民協議会委員長 前田 克彦 様
 長沼町産業振興課長 柏田 雅美 様
 ながぬま農協青年部長 織田 真 様
 ながぬま農協女性部長 角谷 聡美 様

第30回通常総代会

創立30周年記念式典終了後、第30回通常総代会が開催されました。議長団には1区北原功治氏、17区山田誉氏の両総代が選出され、提出議案第1号より第8号までの議案について慎重審議され可決決定されました。



◆ ◆ ◆ **決算報告** ◆ ◆ ◆
令和5年度貸借対照表、損益計算書、及び注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について

◆ ◆ ◆ **提出議案** ◆ ◆ ◆
議案第1号 令和5年度事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第2号 令和6年度事業計画の設定について

議案第3号 賦課金の賦課及び徴収方法について

議案第4号 固定資産の取得について

議案第5号 役員報酬の支給について

議案第6号 定款の一部変更について

議案第7号 総代選挙規定の一部変更について

議案第8号 農産物検査について、農産物検査法に

基づく検査の請求、並びに農産物の検査抽出試料の代理受領及び処分に関する一切の権限を組合に一括委任することについて

- ◆ ◆ ◆ **報告事項** ◆ ◆ ◆
- (1) 労働保険事務組合の令和5年度徴収・納付状況の報告について
 - (2) 株式会社FAMO長沼の令和5年度収支決算報告及び令和6年度事業計画について



議長団挨拶(左:1区北原功治氏、右:17区山田誉氏)



三好代表監事による監査報告



小麦起生期 現地研修会

4月10日、小麦起生期現地研修会が町内4ヶ所で開催され、51名の生産者が参加されました。

普及センターの菅原専門主任と当農協の村井営農コンサルタントより、茎数の確認による起生期追肥の目安や起生期以降の生育状況による追肥、今後の防除体系等について説明がありました。

生産者からも多くの意見・質問が出された有意義な研修会となりました。



ブロッコリー生産組合 栽培講習会

3月27日、ブロッコリー生産組合は栽培講習会を開催し生産者44名が参加しました。

講習会では阿部営農コンサルタントからブロッコリー栽培の反省や課題、令和6年度への高温対策等についてご説明いただきました。



アスパラ共選作業 スタート

アスパラの共選作業が4月14日より始まりました。

昨年に蓄えた栄養分がうまく転用され多収量となっており販売環境もスタートから良い状況が続いています。

選別量は1日約300kgを選別し道内をはじめ全国の消費地へ出荷されています。



地区相談員

ご紹介

技術コンサルタント



榎田 千代司

13・18・20・21・22・27
市街区



氏家 真吾

金融部次長
(経営相談担当)

16・3・5・7・8・9・15
19区



高瀬 智徳

金融部
経営相談課長

25・1・2・4・6・10・17
30・北市区



高田 久士

金融部
経営相談課 査役

28・11・12・14・23・24・26
31区



三上 宗佐

金融部
経営相談課



令和6年度 地区担当職員ご紹介

農産物の出荷・推進など皆様の地区にお伺いする担当者です。よろしくお願いいたします。

令和6年5月1日

区	担当者	区	担当者
1・2	山本 大介・藤村 弘幸 安藤 聡志	16	高瀬 智徳・藤田 裕也
3	松本 渉・森田 竜人	17・19	高嶋 良幸・澤谷 優一 舟橋 皓平
4・北市	堀川 晶・奥 紘稀	18	福井 一司・富澤 淳也
5	谷口 公一・佐藤 勇太	20・31	森本 富一・吉田 光汰
6	高田 久士・清水 大地	21	波川 浩己・高橋 雄也
7・8	倉 誠司・高崎 将史 根井 勝美	22・23	久保 敦・小西 伯泰 道順 文哉
9・10	大屋 寛・安藤 健 篠島加奈子	24	今村 大樹・三上 宗佐 細川 秀樹
11	大和田 健・富樫勝一朗	25・26	仁和 貴也・岩城 和也
12	大波 貴裕・富田 雄飛	27	氏家 真吾・桂 栄一郎
13・14・市	松本 亮介・山澤 啓太	28	細川 悦朗・鱈渕 陽祐
15	山村 範人・八巻 恭大 松村 裕二	29	富澤 和幸・渡辺 直美
		30	工藤 征貴・北川 絢伍

女性部部会活動報告

◆JA青年部の交流ミニバレーボール大会に参加



3月2日、長沼町スポーツセンターにて青年部と職員の交流ミニバレーボール大会が行われフレミズ部員12名が参加しました。初めての試みでしたが夫婦で参加するなど今までにないことでとても良かったです。今後も女性部青年部と協力しあえる活動がいろいろと話していました。

◆フレミズ冬季講習会



3月25日、長沼町ふれにて冬季講習会を開催しました。今回は「クッキー」作りと交流会を行いました。自分でクッキーの販売もしている24区柳原真由美さんに習いクッキーを作りました。各自、持ち寄った型抜きなどを使い、皆さんのクッキーを焼いて家族のお土産に持って帰りました。

交流会では農繁期の前のひと時を楽しんで過ごしていました。

〈花苗巡回指導〉 ◆コスモス部会



4月17日、「ながめまフラワータウン推進協議会」より今年も3万本の花苗の依頼が来ました。この日は普及センター坂内氏に同行いただき苗の生育状況確認の巡回に回りました。水のやり方、温度管理など常に



お世話が必要です。4月に入ってからは寒い日が続いていますが順調に育てられています。

5~6月の

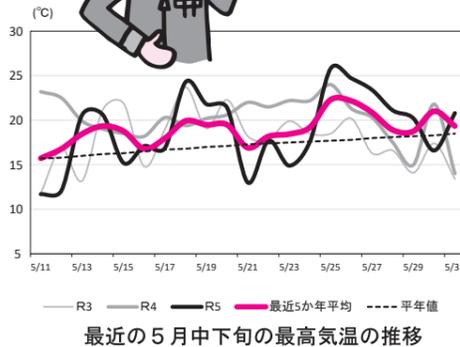
水稻栽培

ポイント



1. 早期異常出穂（不時出穂）の防止

近年の5月中下旬の最高気温は高い傾向で推移しています。2.5葉期以降のハウス内気温が高温（25℃以上）を避けるハウス換気がポイントとなります。特に、成苗ポット苗は温度が上昇して老化しやすいため、注意してください。



2. 育苗追肥の目安

老化苗は移植時のダメージで初期分けつが、消失する可能性が高くなります。移植前追肥を行いましょう。

育苗型式別の追肥の目安

型式	時期	1～1.5葉期	2～2.5葉期	移植3～5日前	3～3.5葉期
中苗（箱マット）		N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	(N-1.0g/箱)
成苗（ポット）		無	無	N-0.5g/箱	(N-1.0g/箱)

※ 3葉期以降の追肥は、必要に応じて（老化苗対策）

● 1箱当り N-1.0g 程度施用の場合

- 施肥例-1 NP57号 (N15-P7) 6～7g/箱（枠）
- 施肥例-2 苗床追肥用尿素複合液肥 (N18-P6) 5ml/箱（枠）（水1ℓ 200倍液）

3. 移植の目安

5月中旬以降、移植適温に達したら適期に移植しましょう。側条施肥（移植同時）の窒素量は3～4kg/10aを施用し、特に疎植栽培は側条施肥窒素量4kg/10a以上が必須です。

育苗様式	移植早限		移植晩限
	気温	月日	月日
成苗ポット	11.5℃	5月14日	6月5日
中苗ポット	12.0℃	5月15日	5月31日

※ 移植後5日間の平均気温の目標値
 ※ 長沼町アメダス平年値より算出

4. 効果的な除草剤の使用時期

初期除草剤、初発除草剤、初中期一発除草剤処理時期のタイミングは、代かき後日数及びノビエ葉令の判断が重要です。近年、5月下旬～6月上旬の気温は、比較的温暖で経過しています。雑草発生も早まっています。特に藻類等の発生より除草剤の拡散しづらい場面が多く見受けられます。除草剤の効果的使用へは、移植後7日以内の処理を目指しましょう。

- ※ 藻類・表土剥離対応
- 新規初期剤「先陣 200 FG」使用量 200g/10a 処理時期 移植直後～ノビエ1葉期
- 藻類の発生抑制に高い効果あり

※ 代かき時期と一発除草剤処理のタイミング目安（初期剤体系しない場合）

移植前日数		移植		移植後日数				
-7～-5	-4～-3	-2～-1	0～4日	5～6	7～8	9～10	11～12	13～
		代かき	多数の一発剤			2葉期	2.5葉期	3葉期
	代かき		多数の一発剤		2葉期	2.5葉期	3葉期	
代かき			多数の一発剤	2葉期	2.5葉期	3葉期		

※ 葉令は、ノビエ葉令を示している。気象条件や土壌条件、前年の発生条件によってノビエ葉令は変動する。一発剤によって使用時期が移植時～ノビエ2.5葉期、移植後3日～ノビエ2葉期、など異なるので注意する。

空管管内のJAながめま青年部は、4月8日、米の館で「JAながめま青年部勉強会」を開き、青年部員約30名が参加しました。

JA販売部米穀畜産課の生産施設担当者を講師に迎えました。

青年部員は講師の話に熱心に耳を傾け、質疑応答では活発な意見交換が行われました。

青年部長の織田真さん(36)は、「これまで自分達の出



荷している米がどのような調製され、出荷されているか分からずいたので、今回このような機会をいただき、大変勉強

になりました。この勉強会を生かして今後も良品質な米をこの調製施設にたくさん出荷していきたい。」と話していました。



青年部勉強会



地域農業の担い手、JA青年組織盟友を応援する雑誌



年2回の別冊付録は一つのテーマを掘り下げ、わかりやすく解説

お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-2232

5~6月の

大豆栽培

ポイント

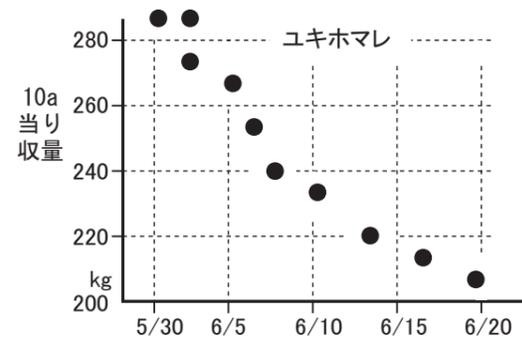


1. 適期は種

は種時期が遅くなると、着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます（右図）。ただし、5月20日以前のは種は、夏期の高温多雨により腐敗粒多発になり易いので避けましょう。

水稻移植がある場合は水稻移植を優先しましょう。

また、発芽揃い及び土壌処理剤効果向上へ、土壌土塊は2cm以下の砕土を目指しましょう。



※は種作業時期の目安

「ユキホマレ・とよまどか」は、腐敗粒発生抑制へ5月25日～6月5日まで

「トヨムスメ・ユキシズカ」等 5月20日～5月末

※ 平均気温が10℃以上となる時期（平年は5月10日頃）

※ 大豆間作小麦栽培予定の場合は、5月30日までには種を完了する。

2. 病害虫防除とは種後の低温時の出芽向上対策

は種後低温が続いた場合は、土壌中のピシウム菌により出芽障害を起こした事例が長沼町で過去に何度か見られているので、必ずは種前に以下の種子粉衣してください。

●処理手順（例） クルーザーMAXX使用

（アブラムシ、タネバエ、茎疫病・苗立枯病・根腐病などに効果）

（は種前日か当日）

(1) クルーザーMAXXを塗布（種子1kgに8ml）

(2) 種子乾燥後根粒菌を接種（ノーキュライド種子は不要）

3. 基肥窒素の留意点

(1) 基肥チッソ量は、10a当り1.5～2.0kgを目処とする。

(2) 前作が野菜（タマネギ、長ネギ、はくさい、ブロッコリー、スイートコーン）及び甜菜の場合は、基肥は無肥料とする。一倒伏防止

4. 適正な播種量

過度の密植栽培は、混みすぎて着莢数が減ったり倒伏につながる。

10a当りは種粒数は概ね20,000～21,000粒

主な品種の10aは種量の目安

トヨムスメ	ユキホマレ・とよまどか	ユキシズカ
8～8.5kg	7～7.5kg	3kg

特に地力があるほ場（前作が野菜・甜菜）及び防風林の側のほ場は、19,000～20,000を目処とする。（トヨムスメ7.5kg、ユキホマレ6.9kg、ユキシズカ2.8kg）

5~6月上旬の

秋小麦栽培

ポイント



今年の「きたほなみ」生育期節と平年値（ ）

起生期 4/3 (3/30)	幼形期 (4/30)	止葉期 (5/23)	出穂期 (5/31)
----------------	------------	------------	------------

今年の幼穂形成期は、平年より2～3日早まると思われます。その後の気温は平年より高く推移すると予想されています。生育期節に応じた農作業にあたりましょう。

1. 止葉期と出穂期以降の窒素追肥など

●止葉期追肥（5月中旬） 「きたほなみ」4kg/10a 「ゆめちから」4～6kg/10a

●出穂期追肥（5月下旬） 生育（葉色）状況に応じて実施

実施方法 低タンパクが心配 尿素1%液（水100ℓに尿素1kg）散布 2～4回

注「きたほなみ」止葉期の止葉直下葉の葉色値（SPAD）50以上では追肥を行わない。
注「ゆめちから」止葉期の止葉直下葉の葉色値（SPAD）45未満は止葉期増肥や開花期に葉面散布を行う。

2. 雑草対策（除草剤の使用）

雑草が大きくならないうち（草丈20cm以下）に散布する。気温20℃程度あれば、除草効果が高まる。

※ MCPソーダ塩 300g/10a 収穫45日前（6月5日頃まで）

※ バサグラン液剤 100～150ml/10a 雑草の3～6葉期 収穫45日前

3. 倒伏防止（主な植物成長調整剤）

起生期茎数1,500本/m²以上（地面が殆ど見えない）の麦は、植物成長調整剤を散布しましょう。

※下記の薬量は10a当り散布水量100ℓ

① エスレル10	止葉期～出穂始期	200～333ml/10a
② サイコセルPRO	出穂前10日～20日	200～300ml/10a

サイコセルPROを幼穂形成期処理済の場合は、サイコセルPROは200ml/10aで処理する。

4. 病害虫防除

(1) 赤さび病

気温が高く雨の少ない条件で多発する（令和5年の「ゆめちから」も発生）。

特に、発生ほ場は、5月中旬頃から防除実施する。「きたほなみ」は防除必須、抵抗性有る「ゆめちから」も最近発生が多くなる傾向、発生ほ場は防除する。

主な赤さび防除剤と使用方法

使用農薬	散布時期
ミリオネアフロアブル（4000倍）	5月中旬（止葉抽出始）～5月下旬（止葉期）

(2) 赤かび病

低温年に発生が多くなり、出穂期、開花期以降に降雨や曇雨天傾向で発病助長する。

開花時期に最も感染しやすい。

1回目防除は開花始めに必ず防除し、その後7日間隔で2回防除を実施する。

多雨で乳熟（登熟）中に雑菌が多発する条件では4回目の臨機防除を実施する。

※ 防除体系例（栽培基準掲載）

1回目	開花始期	（新剤）プロラインフロアブル（2000倍）
2回目	1回目散布後7日後	ベフトップジンフロアブル（800倍）
3回目	2回目散布後7日後	ミラビスフロアブル（1500倍）
※ ミラビスフロアブルは小麦の黒変症状を抑制する効果も高い。		
4回目	（降雨が多い年（臨機散布））	シルバキュアフロアブル（2000倍）

(3) ムギクロハモグリバエ、アブラムシ対策

ムギクロハモグリバエ、アブラムシ等の害虫が見られる場合は、赤かび病防除時エルサン乳剤（1000倍）またはゲットアウトWDG（3000倍）等を混用する。

農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において産業廃棄物に指定されており、農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。

農業用廃プラスチック類のリサイクル率を高めるため、組合員皆様のご協力をお願いいたします。

1. 回収方法

- 農薬の容器類は必ず水洗いをして、透明なビニール袋（粉殻用ポリ袋など）に入れ、マジックで氏名を記入してください。
水和剤の袋も水洗いしてポリ袋に入れること。ポリ容器と区別してください。
農薬やすすいだ時の液体が付着していた場合は、受け入れできませんのでご注意ください。
- ビニールはヒモで縛るなど積込時の事故防止に努めてください。
- フレコンの中にビニール類は一緒に入れないようお願いします。
- 農ビ（PO除く）は、降ろす場所が異なる為、分別して車両に積載してください。
- 塩ビパイプなど長さがあるものは、1m以内で切断してください。
- 苗箱は片手で持てる程度の大きさに縛ってください。
- トラック運搬時は、車両への表示及び画面の備え付けが義務付けられています。
廃ビニール等を降ろし、空車計量後はかならず車両洗浄機を通過し退場をお願いします。
(詳細経路図)
「産業廃棄物運搬車」プレート(詳細別紙)が必要な方はJANAがめままでご連絡をお願いいたします。
※毎回、廃プラスチック類が路上に散乱・落下していると連絡があります。荷物の落下は、後続車等の事故につながりますので、荷崩れを起こさないように積込を行ってください。

2. 受入日程 令和6年6月18日(火)～20日(木)

	ビニール類	プラスチック類	
	18日(火)	19日(水)	20日(木)
午前	1区～16区	1区～8区	17区～24区
午後	17区～31区・市街	9区～16区	25区～31区・市街

3. 受入場所・時間 麦バラ調整施設構内(トラック1台毎に計量)

- ビニール類 8:30～16:00
- プラスチック類 8:30～16:00

※ 4. 回収物(詳細別紙)

農業用廃ビニール類	農ビ・農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ ※上記以外の物は受入できませんので十分注意願います。
農業用廃プラスチック類	※フレコン・苗箱・農薬容器(洗浄済み)・防風ネット・糸入りホース ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ 発泡スチロール・FRP(繊維強化プラスチック)

5. 処理代金

農業用廃ビニール類	28円/kg(消費税別)
農業用廃プラスチック類	40円/kg(消費税別)

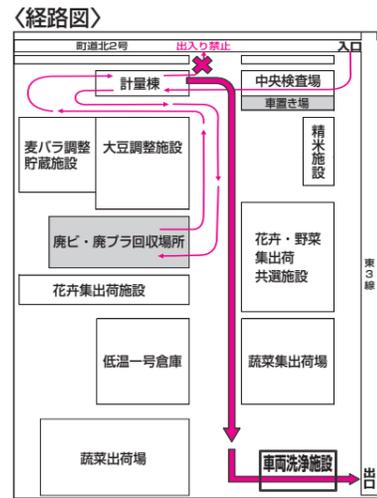
※取引口座(クミカンまたは普通貯金)でお支払いいただきます。

6. 助成金

- 長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。(JANAも長沼町と同額を助成)
- 助成金の支払いは、2回目の回収(11月予定)が終了し、年間処理量が確定した後(12月頃)となります。

7. その他

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、産業廃棄物処理委託契約締結に関する事務の委任状の提出が必要となります。
委任状様式に必要な事項を記入し、押印のうえ提出をお願いいたします。



お問い合わせ先 : ながめま農協 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

5. 雑草対策(除草剤の使用)

- は種直後(土壌処理)と出芽直前～出芽揃い(生育処理)

イネ科+広葉雑草除草に効果ある土壌処理剤として以下の単剤、混合剤等がある。

主な種後出芽前(雑草発生前)処理の除草剤(2成分以上)処理の例

除草剤名	10a 使用量	10a成分投下量(ml・g)							登録10a 使用薬量 (ml・g)
		ピロキサ スルホン	ラッソー	ロロックス	フィールド スターP	ゴーゴース ン	デュアル ゴールド	フルミオ	
トップメリット フロアブル	300ml	10.2		72					250～350
ラッソー乳剤 +ロロックス水和剤	300ml 150g		129	75					300～600 100～200
ラクサー乳剤	600ml		180	72					400～800
プロールプラス乳剤	500ml			57	33.5	32.5			400～600
デュアルゴールド +フルミオWDG	100ml 5～7g						83.7	2.5 ～5.0	70～130 5～10

※トップメリットフロアブル使用における注意事項

翌年、水稻直播栽培予定ほ場の場合は、稲の生育抑制することがあるので使用しない。

※プロールプラス乳剤使用における注意事項

散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。後作物としてかぼちゃ等のうり科やほうれんそう、そばを作付けすると生育抑制することがあるので避ける。

※フルミオWDG使用における注意事項

大豆出芽後に使用すると薬害が出る。散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。

- 出芽直前～本葉1葉(雑草発生揃)処理

パワーガイザー液剤(200～300ml/10a)

※パワーガイザー液剤は雑草発生揃い処理が望ましい。

- 1年生イネ科雑草(大豆2～6葉期)処理

※1年生イネ科雑草対応除草剤

除草剤名	有効成分	%	使用方法・使用時期	収穫前	10a当り	使用回数
					使用量	
ナブ乳剤	セトキシジム	20	1年生イネ科雑草3～5葉期 1年生イネ科雑草6～8葉期 1年生イネ科雑草9～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)	30日	150～200ml 200ml 250～300ml	1
ポルト フロアブル	キザロホップエチル	7	イネ科雑草3～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)	30日	200～300ml	1
セレクト 乳剤	クレトジム	24	イネ科雑草3～5葉期 (スズメノカタビラを除く) イネ科雑草5～8葉期 (スズメノカタビラを除く) スズメノカタビラ3～5葉期	50日	35～50ml 50～75ml 50～75ml	1

- 広葉雑草(大豆茎葉処理)

大豆バサグラン液剤 使用量 100～150ml/10a

使用時期 大豆2葉期～開花前(雑草の生育初期～6葉期まで)収穫45日前まで

※大豆バサグラン使用の注意事項(令和6年度栽培基準P30を参照)

使用時期、気象条件によっては薬害が発生し、減収する可能性がある。

人員配置図

(令和6年4月1日現在)

正職員

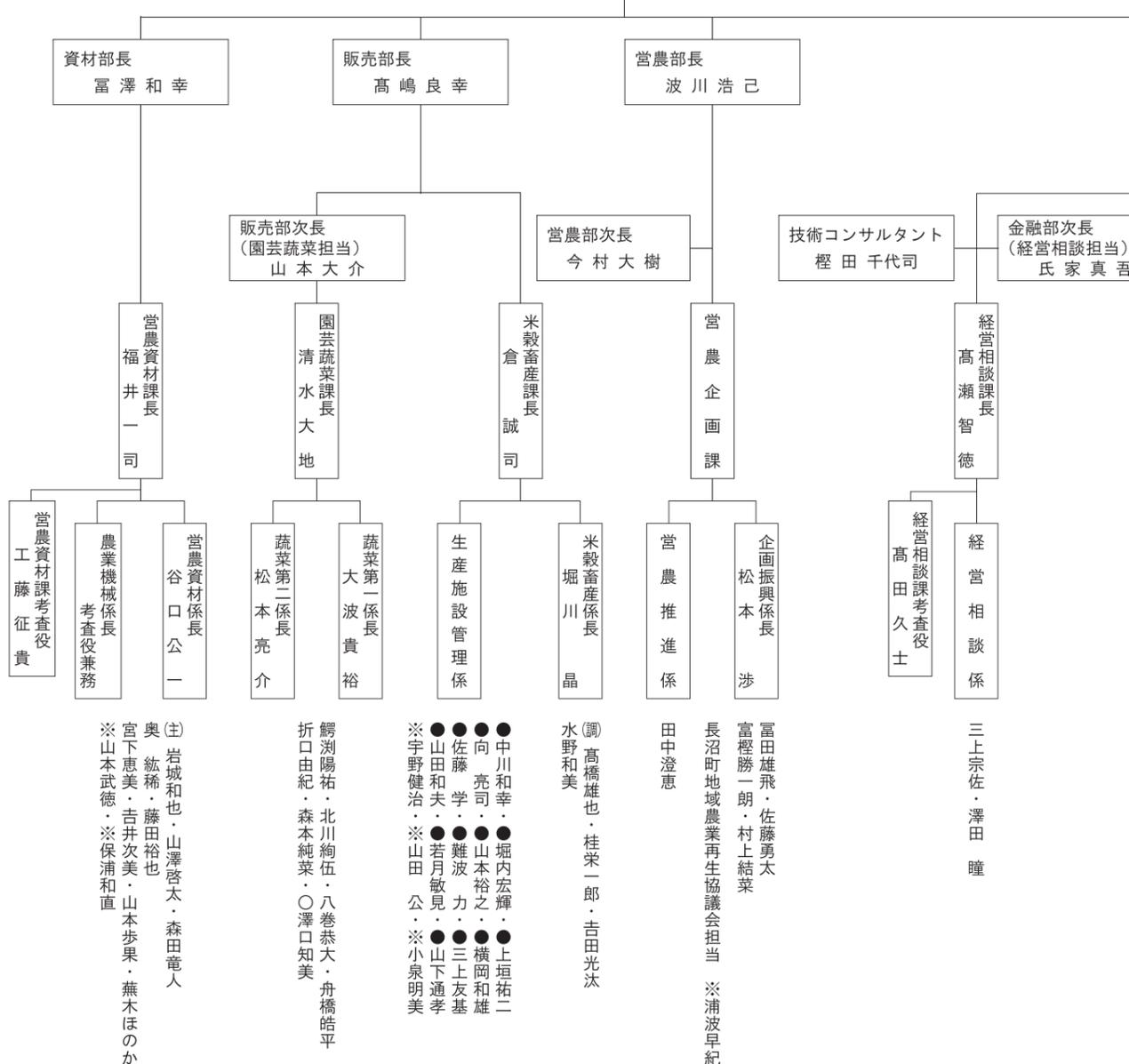
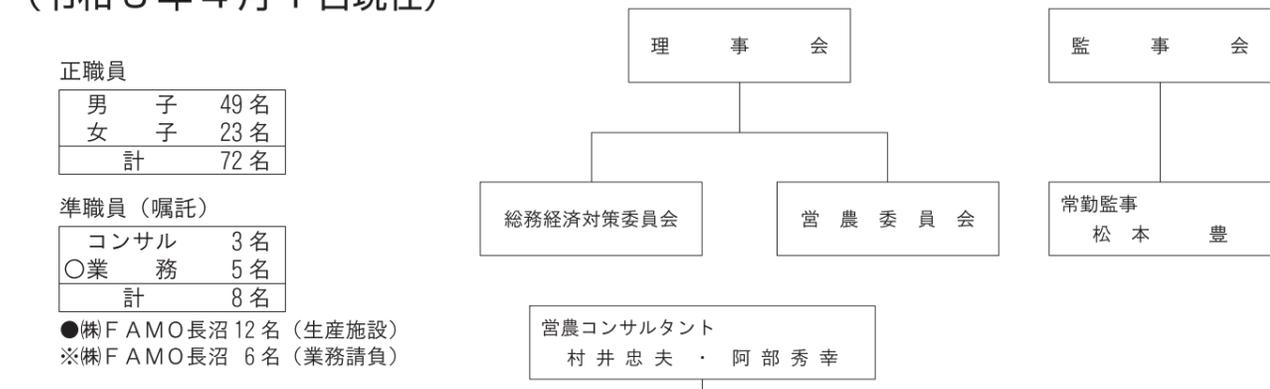
男子	49名
女子	23名
計	72名

準職員(嘱託)

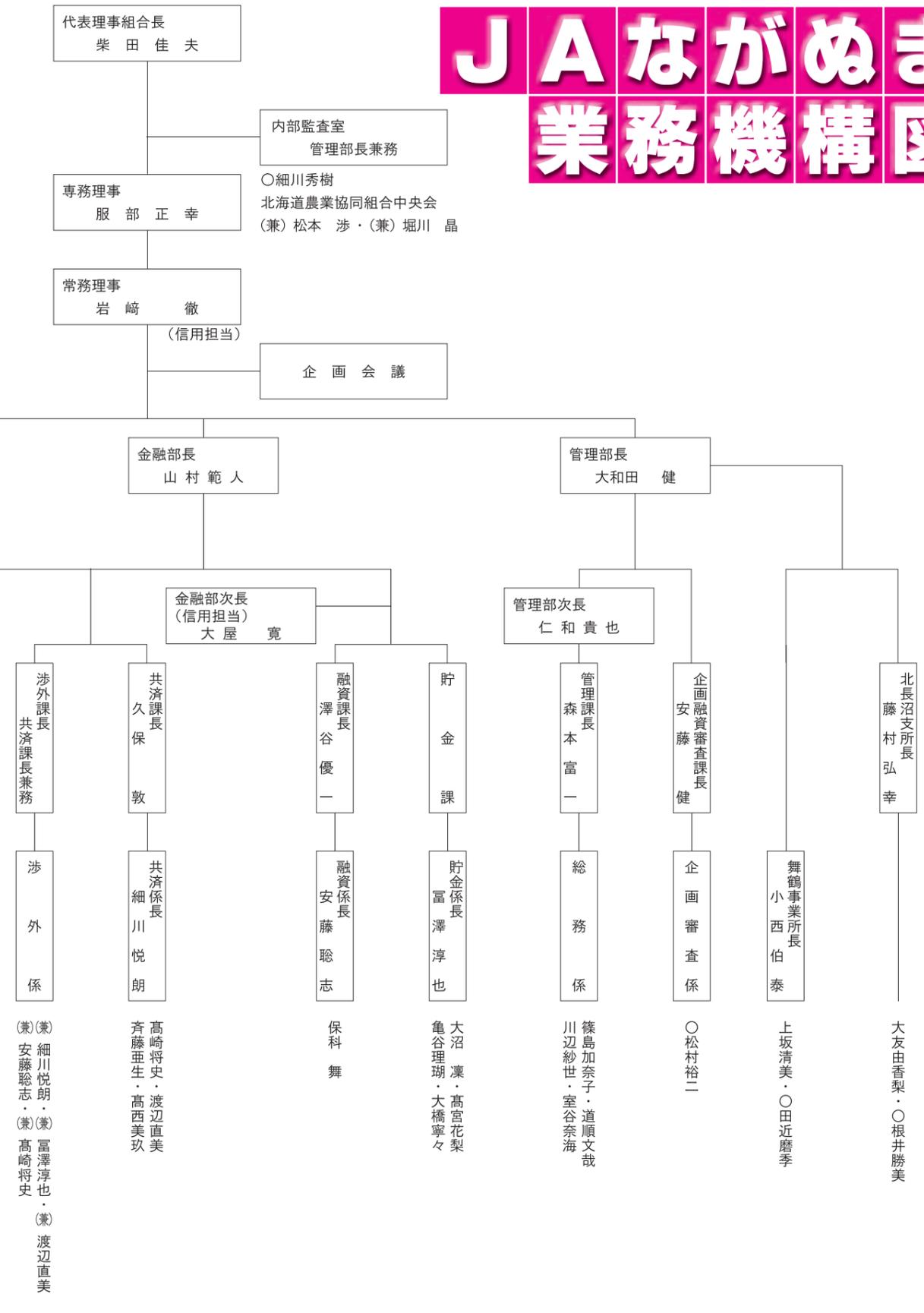
コンサル	3名
○業務	5名
計	8名

●(株)FAMO長沼 12名 (生産施設)

※(株)FAMO長沼 6名 (業務請負)



JAながぬま 業務機構図



令和6年度 トラクター作業等基本協定料金表

この料金は、30a 1筆のほ場での作業を基本としています。
 特殊な土壌や作業程度などの条件がある場合は、双方で協議をし、決定してください。

(消費税別)

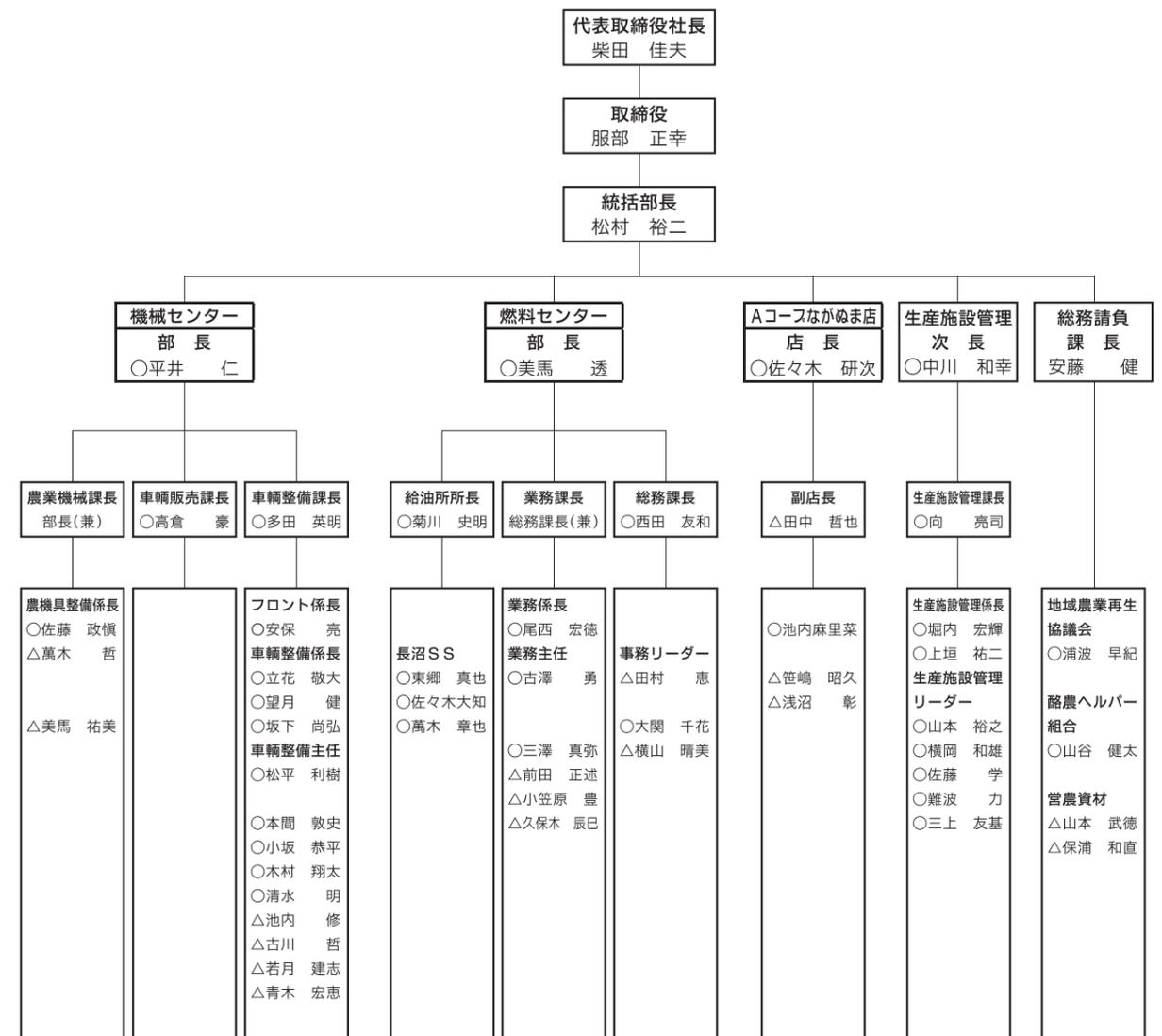
作業区分	作業機	対象	単位	料金(円)	作業機のみ(円)	料金の設定基準とした作業機の性能等	
土壌改良	サブソイラー	田・畑	10a	2,300	500	3本爪、50~70ps	
	レーザーレベラー	田・畑	1時間	11,000	—	作業幅4m	
	モミサブロー	田・畑	1m	20	10	溝幅4cm、溝深30~45cm	
耕起・整地	ブラウ耕	田	10a	3,000	1,000	耕深10~18cm	
		畑	10a	2,500	1,000	耕深10~18cm	
	ロータリー耕	田	10a	3,200	1,200		
		畑	10a	3,000	1,200		
	ロータリー砕土	田	10a	3,000~5,000	—		
		畑	10a	3,000~5,000	—		
	アッパー・ロータリー	畑	10a	3,700	1,500		
	パワーハロー	畑	10a	3,300	1,300		
散布	スタブルカルチ	田・畑	10a	2,500	800		
	代掻き	田	10a	3,000	—	ドライブハロー	
	融雪材散布機	田・畑	10a	1,500	1,000	散布幅18m	
	マニユアスプレッター	田・畑	10a	3,000	1,000		
中耕・除草	ブロードキャスター	田	10a	1,000	500	800ℓ	
	施肥カルチ	田	10a	1,400	500	5畦	
	ロータリーカルチ	田	10a	2,100	1,000		
は種・移植	田植機	田	10a	5,600	4,000	8条、ポット仕様	
	グレンドリル	畑	10a	3,000	1,500		
	プランター	畑	10a	2,300	1,300	4畦、ダブルタンク、60/40ℓx4	
	真空は種機	畑	10a	3,000	2,000	4畦	
	不耕起は種機	畑	10a	3,700	2,700		
	ビート移植機	畑	10a	5,300	3,000	4畦	
防除	玉葱移植機	畑	10a	5,200	—	4畦	
	ブームスプレーヤー	田・畑	10a	1,600	—	散布幅21m、1500ℓ	
	無人ヘリ	田・畑	10a	1,500	—	ヤマハFAZER R	
収穫・刈取	ドローン	田・畑	10a	1,000~	—	作業内容により料金変動(要相談)	
	コンバイン	稲	10a	8,700	—	補助作業員・移動トレーラーは別料金	
		秋麦	10a	6,500	—	雑草繁茂ほ場には別途1,600円加算	
		春麦	10a	6,000	—	小麦の低刈には別途1,600円加算	
		豆類	10a	6,500	—	子実コーンの『倒伏』『幅75cm以外』のほ場の刈り取りはそれぞれ1,600円加算	
		子実コーン	10a	8,000	—		
	ビートハーベスター	畑	10a	5,000	2,700	1畦、タンク容量5.8m ³	
	オニオンハーベスター		10a	10,200	—	自走式、1.2m	
	モアー		10a	3,100	1,000	3.0m、75ps	
	テッター		10a	700	—	6.45m、70ps、6ロータ	
レーキ		10a	700	300			
梱包	自走式レーキ		10a	1,500	—		
	ロールベラー	秋作業	畑	梱包	1,300	—	
		春作業	畑	梱包	1,600	—	
その他		畑	梱包	1,600	—	80ps、1.23xφ1.68m	
	鎮圧ローラー	畑	10a	800	300	2.4m	
	畔塗機		1時間	3,500	1,700		
	ストローチョッパー		10a	1,500	600	2.5m、44~58ps	
	穀物乾燥		1俵	1,000~1,600	—	麦・大豆・子実コーン	
トレーラー運搬料		1回	3,500	—	片道運搬料の価格		

株式会社 FAMO長沼 業務機構図

JAながぬまグループとして、自動車・農機具修理販売事業、燃料・住宅機器事業、店舗・請負事業を行い、地域のライフラインの一翼を担いながら、組合員や地域利用者の利便性向上に努めてまいりますので、皆様のご利用をお待ちしています。

令和6年5月1日現在

内 訳		機械センター		燃料センター		Aコープながぬま店		総務請負	
		男	女	男	女	男	女	男	女
○印 正社員	36	13	0	9	1	1	1	10	1
△印 準社員	16	4	2	3	2	3	0	2	0
合 計	52	19		15		5		13	

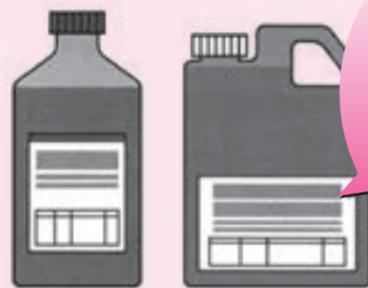




資材センターより

お知らせ

これから農薬を使用する時期が多くなってきます。使用前には農薬のラベルに書かれている適用内容を確認し、散布できる作物や使用量・濃度、使用時期そして総使用回数は必ず守りましょう。



ラベルの内容を確認!

- 作物
- 適用病害虫
- 使用量、濃度
- 使用時期
- 総使用回数 等

薬液のつくり方

水→展着剤→乳剤→フロアブル剤→水和剤

ただし、一部の展着剤には最初に入れることを推奨されていないものもありますので、使用前にラベルの注意事項をご確認ください。

JA 農業関係資金のご紹介

JAバンク利子補給リミテッドの負担軽減率がより充実し、活用しやすくなりました!

現行 最大 **1.2%** → 見直し後 最大 **1.4%**

現行 借入期間5年以内 → 見直し後 **7年以内**

※ただし、利子補給期間5年

JAフルスペックローンまたはJA農業経営ステップアップローンの活用でJAバンク利子補給リミテッドを活用すると

金利が **変動 0.2%** (金利 1.6% - 利子補給 1.4%)

※金利は5月1日現在

※JAバンク利子補給リミテッドとは

- ・事業実施期間は令和6年12月新規実行分まで
- ・借入期間7年以内(ただし、利子補給期間は5年間となります)
- ・借入金額100万円以上1000万円以下
- ・対象資金はJAフルスペックローン(借換使途を除く)、JA農業経営ステップアップローン(土地取得を除く)
- ・申請は各年の事業期間(1月~12月)ごと1案件のみ。

詳しくは金融部融資課 (TEL88-2224) までお気軽にご相談ください!

令和6年度 長期共済推進のお知らせ

本年度、6月中旬より長期共済の推進を行います。
生命(万一・医療)保障・地震、自然災害に備えた保障(住宅・家財・格納庫)を、組合員皆様の生活全般にわたる保障ニーズに合ったプランでご提案いたします。共済職員が各戸訪問の際には、よろしくお願ひ申し上げます。

お悔やみ

令和6年4月3日
資材部営農資材課営農資材係
故 中辻 正樹(46歳)
永きにわたり組合事業に献身的に努力をされた
功績をたたえ謹んでお悔やみを申し上げます。

グリーンパートナー 交流会開催

グリーンパートナー実行委員会は、3月23日に第1回婚活交流会を札幌市内の会場にて開催いたしました。交流会では1対1のトークタイムを設け、スマートフォンを活用して事前に登録したプロフィール内容をお互いに確認し合いながら会話を楽しみました。

参加人数は女性8名、男性10名が参加したなかでカップリングを行い今回は3組のカップルが誕生しました。今後も引き続き出会いの場の提供として交流会を開催してまいりますので、興味のある方は是非ご参加ください。また、随時会員募集しておりますのでお気軽に事務局までお問い合わせください。

グリーンパートナー実行委員会
事務局 経営相談課

担当 高瀬・三上
TEL 88-2229

理事会報告 - 第4回 -

《令和6年4月11日開催》

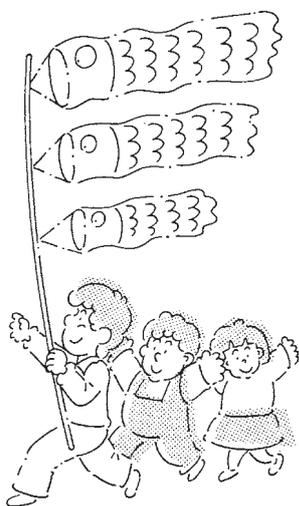
[議案]

- 第1号 令和6年度各理事の報酬額の決定と支給方法、支給時期について
- 第2号 令和6年産農産物予約金(契約金)の設定について
- 第3号 令和7年度職員採用計画について
- 第4号 固定資産の取得について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。



今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,517名(±0)
 正組合員 785名(±0)
 准組合員 732名(±0)
 正組合員戸数 602戸(-1)

農協の動き 3/22~4/11

3月

22日	クリーンライス生産協議会定期総会	於 農 協
22日	麦・大豆生産流通協議会定期総会	於 農 協
23日	グリーンパートナー実行委員会交流会	於 札 幌 市
25日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
25日	長沼町報徳社総会	於 町 内
27日	ジン試飲会 N-STARプロジェクト	於 農 協
28日	総代会事前説明会	於 農 協
29日	退職辞令交付(3/31付)	於 農 協
29日	FAMO長沼退職辞令交付(3/31付)	於 農 協
29日	長沼町農民協議会定期総会	於 農 協

4月

1日	新規採用辞令交付	於 農 協
5日	創立30周年記念式典	於 長沼町民会館
5日	第30回通常総代会	於 長沼町民会館
11日	理事会	於 農 協
11日	監事会	於 農 協



●お申し込みは JA へ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.nougyou-shimbun.ne.jp

紙面を刷新・さらに充実
 役立つ・楽しい・読みやすい!!